

法藏館書店ニュース 7月

目 次

話題の本	P1
法藏館新刊案内	P2~3
法藏館重版案内	P3
法藏館刊行予定案内	P4~5
法藏館書店新着案内	P5~11
特集1:祇園祭特集	P12
特集2:「サンガ伝道叢書」新刊続々発売	P13
特集3:新生「自照社」始動!	P14
お知らせ	P15
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内...	P16

★お知らせ★ 7、8月の書店休業日

7月のお休み: 4日・11日・18日・25日

8月のお休み: 1日・8日・14日~16日(お盆休み)・22日・29日

話題の本

●宗教研究 400号(2021/6/30発行) 【佛教大学研究叢書38】

『唐中期浄土教における善導流の諸相

—『念佛三昧王宝論』と『念佛鏡』を中心に—

加藤弘孝著・A5判・392頁・9,350円・ISBN:978-4-8318-6135-1



●京都新聞[朝刊] (2021/6/17掲載) 【佛教大学研究叢書41】

『流行神—民間信仰におけるハヤリ・スタリとそのメカニズム』

村田典生著・A5判・240頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-6270-9

●西日本新聞(2021/6/12掲載)

『西遊詩巻—頼山陽の九州漫遊』

谷口 匠著・四六判・284頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-7736-9



●月刊 京都 7月号(2021/6/10発行)

『室町時代の祇園祭』

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円

ISBN:978-4-8318-6263-1



●中外日報(2021/6/4掲載)

『村上専精と日本近代仏教』

オリオン・クラウタウ編・A5判・370頁・6,380円

ISBN:978-4-8318-5561-9



●仏教タイムス(2021/5/20掲載)

『吉田久一とその時代—仏教史と社会事業史の探求』

大谷栄一・大友昌子・永岡正己・長谷川匡俊・林淳編・A5判・552頁・5,500円

ISBN:978-4-8318-5563-3

●読売新聞[夕刊] (2021/5/20掲載)

『真宗とは何か』

鈴木大拙著、佐藤 平 頤明訳・四六判・296頁

3,080円・ISBN:978-4-8318-8787-0



●史学雑誌 第130編 第4号(2021/4/20発行)

【龍谷大学アジア仏教文化研究叢書16】

『最古の世界地図を読む—『混一疆理歴代国都之図』から見る陸と海』

村岡 倫編・A5判・298頁・3,520円・ISBN:978-4-8318-6385-0

法藏館新刊案内

法藏館文庫 第11弾！

◆英国の仏教発見

法藏館文庫

【宗教史】

フィリップ・C・アーモンド著、奥山倫明訳・文庫判・400頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-2623-7

一九世紀の英国人らは「異形の教え」である仏教をいかに理解・受容したか、オリエンタリズムと宗教をめぐる問題系を踏まえつつ迫る。

■目次

- 第一章 仏教の発見
- 第二章 仏教と「東洋精神」
- 第三章 ブッダ——神話から歴史へ
- 第四章 ヴィクトリア時代人と仏教の教義
- 第五章 ヴィクトリア時代の訓戒と仏教の実践 ほか

試し読み



◆改訂 祇園祭と戦国京都

法藏館文庫

【日本史】

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-2624-4

「権力に抵抗する民衆の祭」というイメージは実態に合うものなのか。イメージと史実を比較し、中世都市祭礼・祇園祭のリアルに迫る。

■目次

- 第一章 イメージとしての祇園祭
- 第二章 天文二年の祇園祭
- 第三章 室町幕府にとっての祇園祭
- 第四章 延暦寺大衆にとっての祇園祭
- 第五章 神輿と山鉾の祇園祭 ほか

試し読み



◆神智学と仏教

【宗教学】

吉永進一著、碧海寿広解題・四六判・378頁・4,400円
ISBN:978-4-8318-5564-0

神智学やスウェーデンボルグ思想といった〈秘教〉と〈仏教〉を架橋し、近代仏教研究へさらなる展望を与えた著者による待望の単著！

■目次

- 序章 似て非なる他者——近代仏教史における神智学
- I 神智学の歴史
- II 仏教との交錯
- III 靈性思想と近代日本
- 終章 神智学と仏教、マクガヴァンとその周辺 ほか

試し読み



◆正信念仏偈註解

池田行信著・A5判・640頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-7925-7

従来の数多い解釈を網羅し、諸師の理解を素早く確認することができる、『正信偈』を正しく理解するための待望の資料集成。

■目次

【序 論】

- 一 『正信念仏偈』の位置
- 二 なぜ『正信念仏偈』を作ったのか
- 三 『正信念仏偈』の名称
- 四 『正信念仏偈』の構成

【偈文註解】

- I 彌敬偈
- II 依經段
- III 依釈段

——七高僧によって教義を説く

試し読み



従来の很多し解釈を網羅し、諸師の理解を素早く確認することができる、『正信偈』を正しく理解するための待望の資料集成が完成!

QRコード: www.kōdansha.co.jp/00101

ほか

法藏館重版案内

◆妙好人

22刷

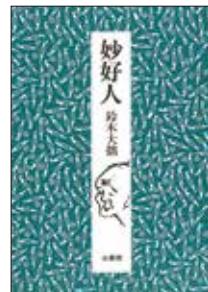
【仏教／真宗】

鈴木大拙著・四六判・294頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-8506-7

才市を中心に、偶像化されてきた妙好人たちの他力実践者としての真実の姿を明らかにする。

■目次

- 一 妙好人
- 二 妙好人と日本的靈性的なるもの
- 三 念佛生活の一ヶ月
- 四 才市の信仰内容
- 五 信仰に入るまで
- 六 信仰の健全性と中庸性——衆生済度
- 七 才市の内生活と南無阿弥陀仏
- 八 净土と娑婆 ほか



◆仏教の大意

9刷

【仏教／思想】

鈴木大拙著・四六判・126頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-7111-4

天皇、皇后に進講された講話の原稿で、仏教の深遠な思想を表していて遺憾がない。全編を大智・大悲の2面に分けて感性の世界と靈性の世界の関係について解明し華厳哲学の中枢にも触れる。

■目次

序

- 第一講 大智
- 第二講 大悲



法藏館刊行予定案内

〈2021年8月 刊行予定〉

◆華厳法界義鏡講究

藤丸 要著・A5判・624頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-7747-5

【仏教】

鎌倉時代に東大寺の学僧・凝然が撰述した華厳概説書『華厳法界義鏡』。貴重な自筆本などを翻刻し、全章にわたって丁寧に解説する。

◆親鸞とマルクス主義——闘争・イデオロギー・普遍性

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5565-7

【近代史／仏教】

近代に数多く出された親鸞論。なかでも宗教界にも衝撃を与えたマルクス主義との交流のなかで構築されたものに注目し、「親鸞を語る」という営みの思想史的意義を検証する。

◆私が生まってきた訳は——中村久子の声を聞く

青木 馨著・四六判・114頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-5719-4

【仏教】

幼少期に四肢欠損しながらも、生涯、身障者支援に尽力した中村久子。最晩年の法話に聞く「生きる意味」とは。法話音声CD付。

◆京の宮絵師安川如風の描く こころのぬりえ

安川如風著・A4変判・40頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-6403-1

【仏教】

京の宮絵師が描く天人や植物をモチーフとした塗り絵本。塗り絵部分は画用紙系の用紙を使用。切り離し可能で塗りやすく、完成品を飾ることもできる実用的な一冊。

◆現代に生きる宮絵師

——京の宮絵師 安川如風の半生と親鸞聖人の歩まれた道

【仏教】

安川如風著・A5判・192頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6404-8

社寺彩色や仏画など、宗教に関する絵付けの仕事に携わる宮絵師として活躍する著者が、職人の技術と矜持をもって歩んだ半生と、敬愛する親鸞聖人の人生への思いを綴る。

ば　　ず　　ばん　　ず

◆婆薮槃豆伝——インド仏教思想家ヴァスバンドゥの伝記

【仏教】

船山 徹著・四六判・268頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-7746-8

ヴァスバンドゥの最古の伝記『婆薮槃豆伝』。諸本対校による原文と、現代語訳、語注、訓読、詳細な解説。世親伝記研究の画期となる重要成果。

祇園祭千百五十年記念

◆中近世祇園社の研究

下坂 守著・A5判・予784頁・予18,000円・ISBN:978-4-8318-6266-2 【日本史／中世／近世】

祇園社(現・八坂神社)の中世・近世における存続の形を様々な観点から考察。特に未解明な点の多い近世祇園社の研究に、基礎的な学術知見を提供する画期的論集。

◆親鸞の信の実践

宇治和貴著・A5判・予320頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-3844-5

【仏教／真宗】

親鸞における他力思想の根幹をなす本願力廻向の信に基づいた慈悲の実践を志向する主体の成立構造とその具体的展開を明らかにする。

◆般若心経秘鍵への招待

高野山真言宗布教研究所編・四六判・208頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6069-9

【仏教】

弘法大師空海が解き明かす『般若心経』の秘密とは。高野山真言宗で読み慣わしてきた書き下し文に、現代語訳、聖語集を付した格好の入門書。解説=武内孝善

法藏館書店新着案内

◆『鬼滅の刃』で学ぶ はじめての仏教

松崎智海著・四六判・222頁・1,463円〈PHP研究所〉

始まりの呼吸の剣士の刀に刻まれた一文字、鬼舞辻無惨が求める不变、魘夢が見せた夢の正体……。人生を仏道として歩むお坊さんが、人気マンガ「鬼滅の刃」の根底に流れる仏教の教えを、独自の視点でやさしくひもとく。日本一カジュアルに仏教を学べる書！



◆DVD 絵解き法話 二河白道

沓名奈都子口演・1時間20分収録・5,500円〈方丈堂出版〉

荒野をゆく旅人が、恐ろしい盗賊や獣に襲われながらも、水の河と火の河の中間にのびる白い道を進み、西の岸にたどりつく——。

「二河白道の譬喻」の内容を最も正確に描いたとされる三幅の「二河白道図」(萬徳寺蔵)を見ながら、その正確な教えについて沓名奈都子が詳しく絵解きします。



◆教化研究 第167号

教学研究所編・A5判・228頁・1,650円〈東本願寺出版〉

特集 曾我量深没後五十年

近代の真宗教学を代表する碩学・曾我量深師について、單なる遺徳の顕彰ではなく、半世紀の時を経過したからこそ探求することのできる課題を再検証。

現代を生きる一人ひとりに曾我師の思想と生涯をたずね直す機縁を開く一冊です。

教化研究



◆季刊せいてん No.135

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・67頁・700円〈本願寺出版社〉

『歎異抄』の魅力をぎゅっと詰め込んだ『いつでも歎異抄』が刊行されました。刊行早々重版が決定するなど、多くの方に喜んでいただいている。今回の特集では、『いつでも歎異抄』に関わってくださった井上先生と一ノ瀬先生に、制作時の思い出などを語っていただきます。後半は、『いつでも歎異抄』をより深く味わっていただくために、『歎異抄』を深掘りていきます！



◆真宗からの俱舍・法相読本

北塔光昇著・B5判・136頁・2,640円〈永田文昌堂〉

■目次

真宗と日本の諸宗	俱舍宗
親鸞聖人時代の宗旨	俱舍宗について
教相判釈について	俱舍教義
二双四重判	法相宗
真実の教	法相宗について
『歩船鈔』について	法相教義 ほか



◆寺録に見る寺院の歴史

元淨公昭著、新田光子監修・A5判・61頁・660円〈永田文昌堂〉

本書は、山口県の真宗寺院「法満山養専寺」に伝えられてきた寺院記録で寺院の歴史を巡るものである。「寺録」は、1945年岩国陸軍燃料廠空襲、大勢の戦死者・戦没者、寺院の大切な梵鐘の供出など、戦争の跡を数多く色濃く記録している。



◆現代語訳 最澄全集——第一～四卷

大竹 晋訳・A5判(国書刊行会)

伝教大師千二百年大遠忌を記念して、全巻同時刊行。おおむね真作と裏づけられる最澄の著作を、各篇ごとに執筆年代順に収録する、本邦初の現代語訳全集。

第一巻 入唐開宗篇 594頁・8,800円

第二巻 権実諍論篇1 484頁・8,360円

第三巻 権実諍論篇2 498頁・8,360円

第四巻 権実諍論篇3 450頁・8,140円



◆真蹟対照現代語訳

日蓮聖人の御手紙——第1～3巻

〈東方出版〉

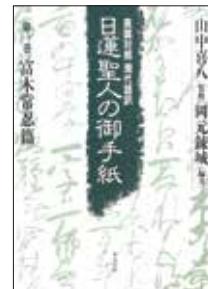
山中喜八監修、岡元鍊城編著・B5判・各206～254頁・各11,000円

日蓮聖人生誕800年を記念し、20年ぶりにオンデマンド版復刊。聖人の立正安国会版真蹟写真を挿しながら、釈文・読み下し文・現代語訳・語註・解題を通じて御遺文の総合的な研究を試みた入門書。

[第1巻]富木常忍篇

[第2巻]弟子・檀越篇

[第3巻]女性篇



◆密教仏神印明・象徴大全

——多種多様な幖幟の世界

藤巻一保著・A5判・366頁・3,278円(太玄社)

如来、菩薩、明王、天部、星神・道教神・和神さまざまな仏神諸尊の「働き・功德」「姿かたち」「手印」「縁起」「真言」「三昧耶形」「種字」を掲載。

密教における幖幟(ひょうじ)を理解するための必携の書。



歴史文化ライブラリー523

◆山寺立石寺——靈場の歴史と信仰

山口博之著・四六判・286頁・1,980円(吉川弘文館)

慈覚大師円仁の開創と伝わる山寺立石寺。その全貌を絵図や古文書、石造物などのモノ資料から分析。比叡山延暦寺や最上氏との関係にもふれ、信仰の形と背景を解明する。靈場を切り口に、地域の中世史を再構築する試み。



パーリ仏典 第3期 9

◆相応部(サンユッタニカーヤ)——大篇 I

片山一良訳・A5判・882頁・17,600円〈大蔵出版〉

本書は、相応部の全五篇のうち、最も「大きな篇」すなわち「大篇」の訳書である。全体は三十七菩提分法と呼ばれる、出世間法を中心にまとめられた、道・果・涅槃の説法である。本巻は、大篇「一二相応」、1201經のうち、前半の四相応、すなわち、第一「道相応」、第二「覚支相応」、第三「念処相応」、第四「根相応」、650經からなる。



岩波新書 新赤版1879

◆ブッダが説いた幸せな生き方

今枝由郎著・新書判・243頁・924円〈岩波書店〉

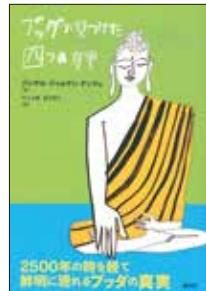
暗く厭世的に思われるがちな仏教。しかし、その開祖ブッダはそんなにマイナス思考の人だったのだろうか。若いころから仏典に触れ、パリで研究をする一方で、仏教国ブータンに長年生活し、チベットの人々の間に生きる仏教に親しんだ著者ならではの、ユマニズムにも通じるブッダの教えの読み解き。



◆ブッダが見つけた四つの真実

ゾンサル・ジャムヤン・ケンツエ著・河上沙羅・望月恵太訳
四六判・221頁・1,760円〈創元社〉

仏教の基本の概念として知られる四法印を、仏教の初心者にもわかりやすく概説。ウイットやユーモアを交えながら、身近なたとえ話を用い、仏教の教えが現代の私たちに賢く生きる知恵をあたえるものであることを伝える。



◆維摩経ファンタジー ——大乗仏教の思想に学ぶ

西村惠信著・四六判・235頁・1,430円〈禅文化研究所〉

これはオモシロイ!

摩訶不思議な小部屋(丈室)で維摩居士が説く、ブッダの教えを根本にした大乗仏教のボサツ道。

ブッダから見舞いの指示をうけた多くの弟子や菩薩たちが、病に伏した維摩居士のところへ行くのを頑なに断わるその理由とは……。



◆生老病死

山折哲雄著・四六判・245頁・1,540円(KADOKAWA)

生き恥をさらすか、晚節を汚すか——日本を代表する宗教研究者が、みずから心身に向き合いつつ、「その時」へと向かう日々のなかで綴る、円熟のエッセイ。

絶筆さえ予感させる驚きをもって結ばれた好評新聞連載、待望の書籍化!



◆坊さん肺ガン日記

岸田緑渓著・四六判・306頁・1,760円(湘南社)

本書は、74歳で「あれよあれよ」という間に、末期肺ガンを告知された僧侶の筆者が、あたふたと検査や治療を受けた日々の雰囲気を日記ふうに書き連ねたもの。男性の10人のうち1人が肺ガンにかかり、男性のガン死亡者の4人のうち1人が肺ガンという時代。肺ガンは治癒率が高くない病気だけに、同じような運命に巻き込まれた方々に、この本が多少の参考になれば、と願う。



◆人は死んだらどこへ行けばいいのか —— 現代の彼岸を歩く

佐藤弘夫著・四六判・329頁・2,420円(興山舎)

巨大墳墓を造った古代日本人が墓に執着しなくなったのはなぜか? それが近世に墓参を必ずするようになり、そして今お墓を捨てる者まで現れたのはなぜか!? 日本思想史の第一人者が列島の数多くの靈場をたずね解明した画期的な激変する他界観の正体。「人は死んだら消えてなくなる」とした民族はこの地球上に存在しなかった!



◆俳句で学ぶ唯識 超入門 —— わが心の構造

多川俊映著・四六判・229頁・2,200円(春秋社)

仏教の深層心理、唯識の世界の扉を開く、目からウロコの超入門。

わたしの「心」とは何か。そして「世界」とは。

難解な心の哲学、仏教唯識の考え方を、俳句や短歌など日本人に身近な詩歌を通して、分かりやすく明快に、生きてることの共感をも込めて解き明かす、驚嘆の唯識超入門。



近代日本宗教史4

◆戦争の時代——昭和初期～敗戦

島薗 進、末木文美士、大谷栄一、西村 明編
A5判・265頁・3,630円(春秋社)

経済的行き詰まり打開のため、泥沼の戦争へと突き進む帝国主義の日本。現在では考えられない版図を誇った日本の植民地での宗教政策とはどのようなものだったのだろうか。また、宗教団体による総力戦体制の下での戦争への協力と抵抗、そしてその反省とは。



◆宗教と過激思想

——現代の信仰と社会に何が起きているか

藤原聖子著・新書判・242頁・946円(中央公論新社)

イスラム、キリスト教、仏教、ユダヤ教、ヒンドゥー教、神道などから、過激とされた宗教思想をとりあげ、わかりやすく解説。マルコムX、ジョン・ブラウンらの思想を分析し、通底する「過激」の本質を明らかにする。



◆宗教社会学——神、それは社会である

奥井智之著・四六判・303頁・3,080円(東京大学出版会)

いまも神は、いたるところで生きている——。社会学の知見に立ち、「宗教とは何か」に迫るとともに、政治・経済・学問・芸術・スポーツなどの根底に息づく宗教の論理を、身近な題材を通して鮮やかに描き出す。〈宗教社会学〉のリスタートを告げる入魂の一冊。



◆リベラル国家と宗教

——世俗主義と翻訳について

タラル・アサド著、莉田真司訳・四六判・248頁・3,520円(人文書院)

近代リベラル国家の原理とされる宗教と政治の分離。しかし、それは本当に可能なのか。著者は、宗教と世俗の根源的で複雑な絡み合いに目を凝らし、「翻訳」概念を導きの糸としてその関係を解きほぐしていく。平等概念の再考、宗教的言説の翻訳可能性と不可能性の意味、国民国家の問い合わせなどをめぐって、宗教学のみならず政治学、哲学、人類学など多様な知を横断し、深き射程が示される、碩学の到達点。



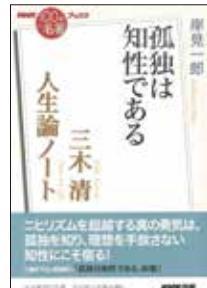
NHK 100分de名著

◆三木 清 人生論ノート

孤独は知性である

岸見一郎著・四六判・155頁・1,100円〈NHK出版〉

三木清は、日本初の哲学者といわれる西田幾多郎と師弟関係を結んだ思索のひとであり、孤独や貧窮を味わった在野の哲学者である。日本が戦争へと突き進んでいくなか、人間の理想的な生き方を求めて三木が綴ったエッセイが『人生論ノート』だ。息苦しいこの時代にこそ読まれるべきその思想を、わかりやすく解説する。



法藏館書店新着雑誌案内

◆同朋 7月号

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円〈東本願寺出版〉

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー ヤマザキマリさん（漫画家・随筆家）
ひとつの考えに縛られず自分はこういう人間と決めつけない。
- ◎特別企画 親鸞がもし現代にいたなら…
 - ・小林聰美のばらばら是好日
 - ・東本願寺界隈 今昔物語……「料理旅宿 井筒安」 ほか



◆大乗 7月号

大乗刊行会編・B5判・88頁・375円〈本願寺出版社〉

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適！ 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

- ・お坊さん み跡をめぐる part 2……「圓光寺」
- ・マンガ お釈迦さま物語……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる
- ・教えて！ 浄土真宗「二双四重判」……藤澤信照
- ・お坊さんのいる病院「言葉にできない思い」……花岡尚樹 ほか



特集1

祇園祭特集

今年の祇園祭は、コロナの影響で規模を縮小して執り行われますが、もとは疫病を取り除くために始まった祭事。今回は、コロナ禍だからこそ深めていきたい祇園祭特集です。

法藏館文庫

◆改訂 祇園祭と戦国京都

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-2624-4

「権力に抵抗する民衆の祭」というイメージは実態に合うものなのか。イメージと史実を比較し、中世都市祭礼・祇園祭のリアルに迫る。



◆室町時代の祇園祭

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6263-1

京都祇園祭の歴史上、最も盛大であった室町期の祇園祭(祇園会)に注目し、公武権力が京都に併存した室町期ならではの特徴を解明。

〈法藏館〉



◆絵画史料が語る祇園祭

—— 戦国期祇園祭礼の様相

河内将芳著・A5判・176頁(カラー48頁)・1,980円

「動く美術館」と称される京都・祇園祭の山鉾行事。その源流といえる戦国時代の姿に、絵画史料と文献史料の両面から迫る。歴博甲本洛中洛外図屏風、サントリー本祇園祭礼図屏風などの拡大図版をカラーで収載。

〈淡交社〉



◆中世京都と祇園祭——疫神と都市の生活

脇田晴子著・四六判・248頁・2,420円

華麗な神輿(みこし)渡御(とぎよ)と豪壮な山鉾(やまぼこ)巡行(じゅんこう)で京都に夏の訪れを告げる祇園(ぎおん)祭。都市から疫病を退散させ人々の生活を守る目的で始まり、祭りの形式は全国の先駆けとなった。中世戦乱を乗り越え今日まで、千年続く歴史を描き出す。

〈吉川弘文館〉



新刊続々
発売

特集2「サンガ伝道叢書」

良質な浄土真宗の法話・講義録を手に取りやすい価格で出版している「サンガ伝道叢書」から、好評の「サンガ聖典シリーズ」をはじめとする新刊3点が一挙に発売されました。

サンガ聖典シリーズ 4

◆正信偈講義 I

藤場俊基著・A5判・110頁・880円

藤場俊基氏による正信偈講義の決定版！名古屋東別院会館を会場として開催された、思仏智の会主催「正信偈」講義の録音を元に、講師による加筆修正を経て編集した講義録。



サンガ聖典シリーズ 5

◆浄土論註講義 I

藤場俊基著・A5判・112頁・880円

天親菩薩の称名念佛に成就した本願の名号をキーワードに、「浄土論註」の意(こころ)が、今、読み解かれる！真宗大谷派能登教区連続教学講座=『浄土論註』共同学習会における藤場俊基氏の講義を元に、講師による加筆修正を経て編集した講義録。



——「サンガ聖典シリーズ」好評発売中 各880円——

・親鸞に聞く觀無量寿經の意

藤場俊基著・A5判・125頁

・『阿弥陀經』に聞く

藤場俊基著・A5判・89頁

・親鸞に聞く大無量壽經の意 I

藤場俊基著・A5判・138頁

・親鸞に聞く大無量壽經の意 II

藤場俊基著・A5判・111頁

◆大いなる共震の「悲の海」へ

高柳正裕著・A5判・111頁・880円

学仏道場回光舎を主催し、様々な宗教者などと対話しながら、時代社会の中で呻吟しつつ道を求める有縁の人々と共に歩まれている高柳正裕氏による法話録刊行！大阪府池田市順正寺「報恩講」講話と、専修学院同窓生学習会での講話の2編を収めました。



サンガ伝道叢書 書籍リスト

こちら



特集3 新生「自照社」始動！

昨年惜しまれつつ廃業した「自照社出版」ですが、このたび「合同会社 自照社」として新たなスタートを切りました！ 第1弾として品切れ後もお問い合わせの多かった『日常勤行聖典』を復刊、さらに新刊2点が発売されました。

◆浄土真宗本願寺派 日常勤行聖典 ——解説と聖典意訳

豊原大成編著・B6判・120頁・330円

正信偈・阿弥陀経・讃仏偈・重誓偈など、日々お唱えする機会の多いお勤めに豊原大成師による現代語訳を付し、意味を味わいながらお勤めしていただけます。法要や作法についての解説付き。お配りものにも最適です。

※本書は(同)自照社が(株)自照社出版から出版権を引き継ぎ刊行しています。

■目次

浄土真宗の教章(私の歩む道)	仏説阿弥陀経
浄土真宗の生活信条	御文章[聖人一流・末代無智・白骨]
正信念仏偈	各種法要
念仏和讃[弥陀成仏～]	仏教讃歌[恩徳讃]
讃仏偈	食事のことば[食前のことば・食後のことば]
重誓偈	焼香のしかた
	※勤行はすべて現代語訳付き



新
刊

◆鎌倉時代の和歌に託した心

今井雅晴著・B6判・176頁・1,980円

激動の鎌倉時代、その歴史に名を刻む人たちの行為・行動の背景には、どのような思いがあったのか。日本中世史の研究者が、彼らの事績をたどりつつ、残された和歌や今様・和讃から、その心の深層を読み解く。



◆他力の五七五

——「正信偈」・和讃・『歎異抄』に聞く

橋本半風子著・四六判・218頁・2,640円

定年退職を機に俳句を始め、仏教の法座に通うようになって20年。煩悩を抱えたままのわたしが、お念佛ひとつで救われるという他力の味わいを、自然と語らい、親鸞聖人のお言葉に聞きながら、十七音とエッセイに詠む。



旧「自照社出版」最終在庫は

こちら



中外日報「宗教文化講座」

テーマ：「法華経の行者に学ぶ——日蓮聖人生誕800年記念」

第3回 リモート可 9月11日(土)「戦国仏教と京都——法華宗・日蓮宗を中心に」

(京都府民総合交流プラザ 京都テルサ(近鉄東寺駅から東へ徒歩5分)・定員:168)

奈良大学 文学部教授 河内将芳氏

第4回 リモート無 10月9日(土)「日蓮主義とはなんだったのか」

(京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口すぐ)・定員:120)

佛教大学 社会学部教授 大谷栄一氏

第2回 5月15日開催の「宗教文化講座」は延期となっております。

今後の開催時期など、詳しくは下記まで。

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722

Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、
希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

※2020年の講座の受講票をお持ちの方は、そのままお使いいただけます。

小学館
SUMO本

第2弾『土門拳』刊行

土門 拳撮影・B2判(天地690mm×左右500mm)・上製・かがり綴じ
写真解説集付き・284頁・352,000円(小学館)

見開きB1サイズの迫力!

昨年大きな話題を呼んだ『東大寺』に続く超特大写真集。
日本を代表する写真家・土門拳が生涯撮り続けた仏像・
古建築の写真216点を、縦69cm、横50cmの大迫力誌面に
最新の印刷技術で再現。法隆寺、薬師寺、東大寺、唐招
提寺、東寺、平等院、中尊寺など、26ヶ寺、5地域の仏教美
術を掲載。



ご注文はお電話・FAX・メール・法藏館書店サイトにて承ります。
(お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。何卒ご了承ください。)

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(6月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	溶け合う世界へ—南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
2	いつでも歎異抄	井上見淳意訳 —ノ瀬かおる画	本願寺出版社	770円
3	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
4	正信偈講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
5	清沢満之全集 別巻II	大谷大学	岩波書店	8,140円
6	親鸞聖人の自筆にふれる正信念佛偈	東本願寺出版	東本願寺出版	1,100円
7	七高僧と親鸞	鎌田宗雲	永田文昌堂	990円
8	いのちの浄土—中村薰遺稿集	中村 薫	法藏館	1,430円
9	観音菩薩の化身 聖徳太子—浄土真宗「和國の教主」	本願寺出版社	本願寺出版社	880円
10	新装版 親鸞の人生観—教行信証真仏弟子章	金子大榮	法藏館	1,980円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料・代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。



おかげさまで410年を迎えることになりました。
佛教風土の都・京都に育てられた、わたしたち。
そよ風が花の香りを伝えるように、これからも、
佛教文化を伝える風でありたいと思います。

法藏館書店

住所:〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電話:075-343-0458 FAX:075-371-0458

発行人:西村明高

E-mail:shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]

月~土: 9:30~18:00

祝 日: 10:30~18:00

(休業日:毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

佛教の風



佛教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter facebook つぶやき中~!

